

W-780 取扱説明書

W780-z-2111

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいませようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

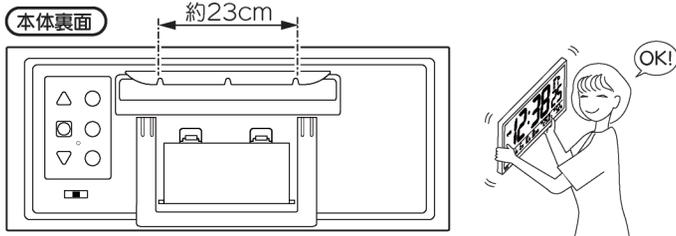
製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25°C で使用した場合)
(電波時計による時刻修正を行わない場合)
- 表示精度: ±1 秒以内 (電波受信による時刻修正の直後)
- 使用温度範囲: 0 ~ +40°C ※結露なきこと
(外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 使用推奨電池: 単 3 形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 6 個
- 電池寿命: 約 12 ヶ月 (単 3 形アルカリ乾電池 6 個を使用し、1 日に電波受信を 1 回チャイムを 2 回使用した場合)
- 電波受信: 40kHz/60kHz のどちらか受信しやすい電波を受信し、現在時刻に合わせる
●自動受信 (最多 4 回 / 1 日) ●手動受信
- 時刻表示: 12 時間制表示、または 24 時間制表示
- カレンダー表示: 2020 年 1 月 1 日 ~ 2099 年 12 月 31 日 (フルオート)
- 温度計: 表示範囲 -10 ~ +60°C ※ -10°C より低いと LL、+60°C より高いと HH を表示
精度 ±1°C
- 湿度計: 表示範囲 0 ~ 99%RH (%RH は相対湿度の単位です)
精度 ±4%RH (温度 25°C で、20 ~ 80%RH の間)
±7%RH (上記以外)
※99%RH より高いと HH を表示
- プログラムチャイム: 最大設定数 4 回 / 1 日 (ウエストミンスターチャイム)

時計の掛け方について

注意 掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
 - 時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に動きません。
 - ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
 - 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
 - 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
 - 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。
- ※材質・構造が不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



※本製品裏面にある壁掛け部の左右2点間の距離は約23cmです。掛け具を使用する際、参考にして下さい。

電池の交換について

- 電池容量が不足してくると、電池交換お知らせ表示 が点灯します。速やかに同じ種類の新しい電池に6個同時に交換して下さい。
- ※買い置きのある電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により電池寿命が短くなる場合があります。
- ※ご使用の際は電池を6個入れないと、製品仕様を満たさない場合があります。

電波時計について

電波時計とは標準電波を受信して自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波とは情報通信研究機構 (NICT) が運用している時刻情報をのせた電波です。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおかたどや山標準電波送信所」と、佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の国内2か所にあります。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という精度の「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波の送信停止について

標準電波は毎時15分と45分から各1分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、送信所の定期点検や落雷などの影響により停波(送信停止)することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

日本国外でのご使用について

本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる場所の条件により日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った日時を表示する場合があります。あらかじめご了承ください。

電波の受信範囲について

送信所からおおむね半径1000kmとされています。

※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。



電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など電波障害の起きやすいところ
 - ビルの中、ビルの谷間、山など電波を遮るものの近く
 - 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
 - 金属製の雨戸やブラインドの近く
 - 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
 - 自動車、電車、飛行機などの中
 - 家電製品やOA機器、蛍光灯などの照明器具の近く
 - スチール机などの金属製家具の上や近く
 - 朝・夕の時間帯や雨天のとき
- ※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合は、リセット操作を行い使用する場所を変更してご使用下さい。

標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。

情報通信研究機構 ホームページアドレス <https://jy.nict.go.jp>

自動電波受信機能について

本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。電波を受信できない場合、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間に再び電波受信を行います。

受信の状態について(受信マークの表示例)

- 点滅中 ■ 受信中(電波を探している状態)です。
- 点灯 ■ 受信に成功して時刻/日付修正を終了しています。
* 次の受信開始まで点灯し続けます。
- 消灯 ■ 受信に失敗して終了しています。
* 次の受信開始(点滅)まで、表示されません。

リセット操作について

電池を電池ホルダからはずした直後は、静電気や内部に残っている電流により、誤動作(誤表示)する場合があります。電池を入れる前に、必ずRESETボタンを押して下さい。

※RESETボタンは、先の細い尖っていない棒などで押して下さい。針などの先端の鋭利なものを使用すると、ボタンが破損しますのでご注意ください。

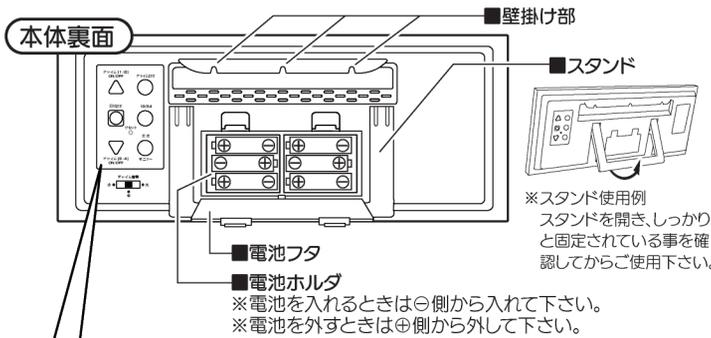
温度湿度表示機能について

- 本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度湿度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
- 他の製品、温度計・湿度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、注意して下さい。

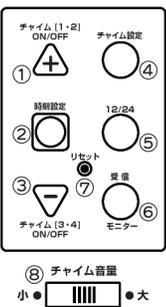
液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 0 ~ +40°C の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。

各部の名称



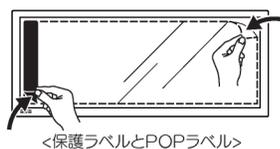
操作部拡大図



- ①チャイム[1・2] ⊕ ボタン: チャイム[1・2]のON/OFFに使用します。設定操作中に1回押すごとに項目を加算します。
- ②時刻設定ボタン: 手動での時刻設定に使用します。
- ③チャイム[3・4] ⊖ ボタン: チャイム[3・4]のON/OFFに使用します。設定操作中に1回押すごとに項目を減算します。
- ④チャイム設定ボタン: チャイム時刻の設定に使用します。
- ⑤12/24時間ボタン: 通常時刻表示のときに押すと、12/24時間表示を切替えます。
- ⑥受信/モニターボタン: 手動受信と受信停止するときに使用します。チャイム音が試聴できます。
- ⑦リセットボタン: 表示と設定内容を初期化するボタンです。
- ⑧チャイム音量切替スイッチ: チャイムの音量を大/中/小から選択して切り替えます。

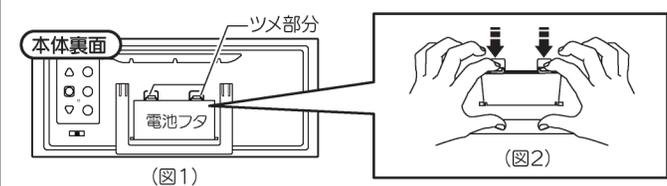
ご使用方法

- ①透明の保護ラベルとPOPラベルを剥がす。
 ※ラベルを剥がす際に、液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。



- ②<電池フタの開け方>を参照し、電池フタを開けて単3形乾電池6個を⊕の表示に合わせて入れ、電池フタを閉じる。
 →電池を入れたら、「ピッ」と確認音が鳴った後、液晶面が表示され、電波の受信を開始します。
 ※受信中は受信マークが点滅します。
 ※受信には最長12分かかります。
 ※ご使用の際は電池を6個入れないと、製品仕様を満たさない場合があります。

<電池フタの開け方> 電池フタを開けるときは、(図1)の電池フタのツメ部分を2か所同時に(図2)の矢印↓の方向に押しながら、開けて下さい。



- ③受信の結果を確認する。本書「受信の状態について」を参照。
 ●受信に成功すると、受信マークが点灯して自動的に時刻と日付を修正して表示します。
 ●受信に失敗すると、受信マークは消灯します。時刻・日付は修正されません。

電波受信ができなかった場合は…

W780-z-2111

①手動で時刻を設定し、朝までそのままにしておく

本書「手動で時刻を設定する」を参照して、現在時刻に合わせて時刻を設定し、一晩そのままにしておく。
 一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと、受信できる可能性が高くなります。

②設置場所を変える/受信をやり直す

本書「電波時計について」の「電波を受信しにくい環境」と「手動受信について」を参考に、設置場所を変えて、再度、受信をさせる。
 ※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

手動受信について

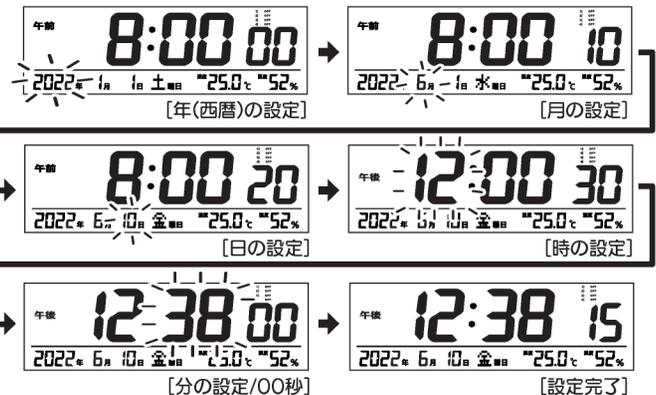
電波受信が終了(受信マークが点灯、または消灯)しているときに受信ボタンを3秒以上押し続けると「ピッ」と確認音が鳴り、電波受信を開始します。
 ※電波受信中に受信ボタンを3秒以上押し続けると電波受信を終了します。

手動で時刻を設定する

注意 ※電波受信中(受信マークの点滅中)に手動による時刻設定を行うと、電波の受信がキャンセルされます。
 ※設定中の点滅は約60秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。

- ①通常時刻表示のとき時刻設定ボタンを3秒以上押し続けると、「ピッ」と確認音が鳴る。→時刻設定モードに入り[年(西暦)]が点滅します。
- ②チャイム[1・2] ⊕ ボタン、チャイム[3・4] ⊖ ボタンを押して[年(西暦)]を設定する。
- ③時刻設定ボタンを押すごとに[年(西暦)]→[月]→[日]→[時]→[分]が点滅するので、チャイム[1・2] ⊕ ボタン、チャイム[3・4] ⊖ ボタンを押してそれぞれを設定する。
 ※[秒]は、[分]の設定時にチャイム[1・2] ⊕ ボタン、チャイム[3・4] ⊖ ボタンを押すごとに00秒に設定されます。
- ④[分]の設定が終了したら時刻設定ボタンを押す。
 →点滅が終了し、設定された時刻と日付が表示されて、時刻・日付設定が完了します。

[例]2022年6月10日(金)12時38分を設定する場合



①プログラムチャイム -時刻の設定方法-

プログラムチャイムを設定することで、任意の時間にチャイムを鳴らすことができます。(最大1日4回)

注意

※電波受信中は、プログラムチャイムの設定はできません。
 ※設定中の点滅は約60秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常時刻表示に戻ります。

- ①通常時刻表示のときにチャイム設定ボタンを押す。→チャイム[1]の設定時刻が表示します。※チャイム設定ボタンを押すごとに、「チャイム[2]」→「チャイム[3]」→「チャイム[4]」の順に設定時刻を表示します。設定するチャイムを選んで下さい。
- ②チャイム設定ボタンを3秒以上押し続ける。→チャイムの設定モードに入り、[時]部分が点滅します。
- ③チャイム[1・2] ⊕ ボタン、チャイム[3・4] ⊖ ボタンを押して[時]を設定する。
- ④[時]の設定が終了したら、チャイム設定ボタンを押す。→[分]部分が点滅します。
- ⑤チャイム[1・2] ⊕ ボタン、チャイム[3・4] ⊖ ボタンを押して[分]を設定する。
- ⑥[分]の設定が終了したら、チャイム設定ボタンを押す。
- ⑦チャイムの設定時刻が表示されて設定が完了します。
- ⑧チャイムの設定完了後、チャイム設定ボタンを押すと通常時刻表示に戻ります。

②プログラムチャイム -使い方-

- チャイムを鳴らす: 通常時刻表示のときチャイム[1・2]ON/OFF ⊕ ボタンまたは、チャイム[3・4] ⊖ ボタンを押す、チャイムON/OFF表示をONにする。
 ※チャイム[1・2] ⊕ ボタンまたはチャイム[3・4] ⊖ ボタンは1回押す毎に対応する各チャイムのON/OFFが切り替わります。
 例: チャイム[2]のみをONにする場合
 ①チャイム[1・2] ⊕ ボタンを押す→チャイムON/OFF表示 1) ON が点灯する
 ②再度チャイム[1・2] ⊕ ボタンを押す→チャイムON/OFF表示 2) ON が点灯する
 ③再度チャイム[1・2] ⊕ ボタンを押す→チャイムON/OFF表示 1) OFF が点灯する
 ④チャイム[2]のみが 2) ON となり、設定完了。
 ※初期状態(電池を入れた直後)は、チャイムはすべてOFFです。
- チャイムを途中で止める: いずれかのボタンを押す。→チャイムが鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。※チャイムON/OFF表示はONのままです。
 ※チャイム音は約20秒で自動で鳴り止まります。
 ※チャイム音量切替スイッチでチャイムの音量を任意で[大・中・小]から設定する事が出来ます。受信/モニターボタンを押すと、設定した音量を確認することが出来ます。